課程修了者の日本語能力習得状況等

作成年月日: 2025 年 04 月 17 日

日本語教育機関名:学校法人中部いちい学園 ToBuCo専門学校

設置者名: 多治見 文雄 印

課程修了者の日本語能力習得状況等	基準適合性
第44号:大学等への進学者,入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交・公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者及びCEFR・A2相当以上と認められる者の合計が、課程修了の認定を受けた者の7割以上	0

基準該当者割合 ②÷(①+③)	100.0%
課程修了者数(※1, ※2)①	66
基準該当者合計数 (実人数) ②	66

左記「基準該当者合計数 (実人数)」のうち退学者数 (44号ただし書き) ③	0

※2 各年度の課程修了の認定を受けた者が、その修了日までに入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交、公用及び技能実習を除く。)への在留資格変更許可申請をした場合において、当該申請に対する処分が、この号に基づく地方出入国在留管理局への報告までになされないときは、当該者を分母となる課程修了認定者の数に該当する者として加える必要はない。

基準該当者の各内訳		日本語進学2年科	日本語進学1.5年科	
※該当する要件が二以上ある生徒は、a~cのそれぞれに計上可。ただし、「基準該当者合計数(上記②)」は実人数を算出する必要があるため、当該生徒について重複を除き、一人として扱うこと。	a. 大学等への進学者の 数 ※我が国での進学に限り,非	32	32	
	b. 入管法別表第一の一の表若しくは二の表の上欄の在留資格(外交, 公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者の数	1	0	
	c. CEFRのA2相当以上の レベルであることが試験その 他の評価方法により証明さ れている者の数 ※法務省HPに掲載された試 験又は日本留学試験に限る。	32	31	

※CEFRのA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者(C)については、CEFRのA2相当以上のレベルであることを証明するための書類(試験の合格証等)の写しを本報告書と併せて提出すること。

基準該当者合計数(②)及び内訳(a~cのそれぞれの合計)の公表の方法

当校ホームページにて公表。

^{※1} 退学者は含めない。

自己点検・自己評価

学校法人中部いちい学園 T o B u C o 専門学校 校長 多治見文雄

≪評価≫

5: 達成している 4: ほぼ達成している 3: どちらともいえない 2: 取り組みを検討中 1: 改善が必要

1 教育理念・目標

1-1	教育理念は定められているか	5
1-2	教育目標は定められているか	5
1-3	学校の特色は何か	4
1-4	教育理念・目標に基づく教育が行われているか	5

課題と今後の改善方法

- ・教育理念や目標を明確にして、社会人として幅広いニーズに対応できる教育を行う。
- ・特色のある学校として、さらに強調できる教育を目指す。

2 学校運営

<u>2-1</u> 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
2-7 危機管理体制は整備されているか	5
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されている	カン 5

課題と今後の改善方法

・情報システムについて、ITをもっと活用して効率化を目指す必要がある。

3 教職員

3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
<u>3-3</u> 教職員評価を行っているか	5

課題と今後の改善方法

- ・登録日本語教員の資格取得のため、経験者講習を受講して実践に役立つ内容でブラッシュアップになった。
- ・今後は、全ての教員が共通認識を持ち、教育の質を向上させる取り組みを行う。

4 教育活動

<u>4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか</u>	5
4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
4-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
4-4 成績評価は適切に行われているか	4
4-5 資格取得の指導体制はあるか	5

課題と今後の改善方法

・カリキュラムや授業の進め方を精査し、成績評価が適切に行われるよう各項目を明確にする。

5 学生支援

5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5 保護者と適切に連携しているか	5
5-6 卒業生への支援体制はあるか	5
5-7 入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
5-8 日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

課題と今後の改善方法

・進路は、クラス担任が学生一人ひとりとカウンセリングを行いながら、大学や専門学校への進学指導を丁寧に実施して、学生の希望や適性に応じた進路選択を支援する。

6 在留管理と生活指導

6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3 我が国の法令を順守させる指導を行っているか	4
6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	5

課題と今後の改善方法

・日本社会や国の法令やマナーについて、各国の通訳者から詳細に説明をして順守するよう指導しているが、忘れてしまうこともあるため定期的に指導が必要である。

7 学生の募集と受け入れ

7-1 学生の受入れ方針は定められているか	5
7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
7-4 入学選考の学納金は妥当なものとなっているか	5
7-5 適正な定員設定および在籍者になっているか	5

課題と今後の改善方法

・現地日本語学校や仲介業者と連携して、募集内容に相違がないか応募者にも確認しているが、仲介業者によって独自の方針もあるので注意が必要。

8 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

課題と今後の改善方法

・学校法人として長期実績があるので財務基盤は安定している。

9 法令等の遵守

9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

課題と今後の改善方法

・個人情報の持ち出しやメール送信の漏えい等の危険性について、教職員だけでなく学生にも周知する。

10 社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

課題と今後の改善方法

・地域住民との交流やボランティア活動に積極的に参加できるよう支援する。